

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 日 作成

総合計画体系	事務事業名	収入(歳入)事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	課長名 大高 和弘
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	会計課 担当者名 小辻 康幸
	基本事業	89	会計の適切な処理	所属班	会計班 (内線) 1120
				法令根拠	地方自治法、合志市会計規則

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6
	1	2	1	8	11149		コスト削減優先度評価結果	5

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 18 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
合志市の収入(歳入)に関する事務である。

【業務の流れ】  
①指定金融機関からのMO確認処理 ②市の現金出納票と指定金融機関の収支日報とのチェック ③収入役口座に直接振り込まれた収入の種類を調査し担当課に調定を起こしてもらい納付書を発行する。 ④歳入調定票の審査 ⑤余裕資金の運用 ⑥基金、歳計外現金の管理

【主な予算費目】賃金 薬田費 役務費

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 事業の内容と同じ	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ	
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア 歳入関係の審査枚数 枚
		イ 収納MO処理件数 日数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 収入金(歳入金)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア 収入金額(歳入金額) 千円
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 正確に金額を把握し、速やかに正しい科目に収納する。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア 誤って処理された(不備)書類の件数 件
		イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 収入金が適正に収納され、安全有利に運用されている。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア 誤って収納された件数 件
		イ 監査指摘件数 件

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0          0  0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	291	66	55	33	55	33		33
	(A) 事業費計	千円	291	66	55	33	55	33	33		
	人件費	うち指定経費	千円								
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
		正規職員従事人数	人	5	56	6	175	6	6		6
延べ業務時間		時間	1,792	3,272	2,343	8,042	2,200	2,200	2,200		
(B) 人件費計	千円	7,114	13,023	9,325	32,007	8,756	8,756	8,756	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,405	13,089	9,380	32,040	8,811	8,789	8,789	0		

指標	単位	18年度 実績	19年度 実績	20年度 目標	20年度 実績	21年度 目標	22年度 目標	23年度 目標	22 年度
活動指標	枚 日数	3516 249	3058 246	3500 248	3513 243	3500 248	3500 248	3500 248	
対象指標	千円	30063084	31497987	30000000	28034612	30000000	30000000	30000000	
成果指標	件	50	0	0	0	0	0	0	
上位成果指標	件	8 2	0 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
地方自治法により、地方税、分担金、手数料を徴収できるとされている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
合併直後は、適切に処理されているかの根拠となる添付資料の漏れが多かったが徐々に改善されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
特に聞いていない。

事務事業名	収入(歳入)事務	所属部	所属課	会計課
-------	----------	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「正確さに金額を把握し、速やかに正しい科目に収納する」ことは結果の「収入金が適正に収納され、安全有利に運用されている」ことに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 法で定められていることであり、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 現状のままで適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 各課で起票時における歳入科目の再確認を徹底し、ミス減らす。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 地方自治法に反し、また、市政の運営上混乱を招くと思われるので、廃止・休止できない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 19年度からは、臨時職員に代わり職員が配置されたことに伴い、事業費の削減となっているが、これ以上の削減は難しいと思われる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 複数での審査が必要であり、削減は難しいと思われる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 内部事務であり法により審査が必要である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…各課で起票時における、歳入科目の再確認を徹底し、ミス減らす。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

会計課他各課での出納閉鎖前のチェックで、閉鎖後に発覚する誤りを未然に防ぐことができるが、単なる数字のチェックではわからない誤りがあるので、各課においては厳重なチェックが必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	10	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )